

1. 議事日程

(平成20年第2回安芸高田市議会7月臨時会第1日目)

平成20年7月8日
午前 10時開会
於安芸高田市議場

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 同意第8号 安芸高田市教育委員会委員の任命の同意について

日程第4 議案第91号 平成20年度安芸高田市一般会計補正予算(第1号)

2. 出席議員は次のとおりである。(22名)

1番	山根 温子	2番	宍戸 邦夫
3番	明木 一悦	4番	秋田 雅朝
5番	田中 常洋	6番	加藤 英伸
7番	川角 一郎	8番	塚本 近
9番	赤川 三郎	10番	松村 ユキミ
11番	藤井 昌之	12番	青原 敏治
13番	金行 哲昭	14番	杉原 洋
15番	入本 和男	16番	山本 三郎
17番	今村 義照	18番	玉川 祐光
19番	岡田 正信	20番	亀岡 等
21番	渡辺 義則	22番	松浦 利貞

3. 欠席議員は次のとおりである(なし)

4. 会議録署名議員

19番 岡田正信 20番 亀岡 等

5. 地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名（9名）

市長 浜田一義 副市長 藤川幸典
総務企画部長 田丸孝二 総務課長 沖野文雄
行政経営課長 武岡隆文 教育長 佐藤 勝
教育次長 益田博志 教育参事 永井初男
生涯学習課長 大野逸夫

6. 職務のため議場に出席した事務局の職氏名（3名）

事務局長 光下正則 議事調査GL 児玉竹丸
書記 倉田英治



午前 10時00分 開会

○松浦議長

ただいまの出席議員は、22名であります。
定足数に達しておりますので、これより平成20年第2回安芸高田市議会臨時会を開会いたします。
直ちに本日の会議を開きます。
本日の議事日程は、あらかじめお手元に配布したとおりであります。
日程に入るに先立ち、議会事務局長より諸般の報告をいただきます。
事務局長 光下正則君。

○光下事務局長

諸般の報告をいたします。
第1点、市長並びに教育委員長より、本臨時会に説明員として出席委任するものの職氏名の一覧表が提出されております。
第2点、監査委員より平成20年6月分の例月出納検査結果の報告がありました。
それぞれの写しをお手元に配布いたしておりますのでご了承ください。

以上で諸般の報告を終わります。

○松浦議長

以上をもって諸般の報告を終わります。



日程第1 会議録署名議員の指名

○松浦議長

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。
会議録署名議員は、会議規則第79条の規定により、議長において、19番 岡田正信君、及び20番 亀岡等君を指名いたします。



日程第2 会期の決定

○松浦議長

日程第2、会期の決定を議題といたします。
本臨時会の運営について、過日、議会運営委員会を開き、ご協議いただいておりますので、その結果について、議会運営委員長 杉原洋君の報告を求めます。

○杉原議会運営委員長

平成20年第2回臨時会の運営につきまして、去る7月1日に議会運営委員会を開き、次のとおり決定いたしましたので報告します。

まず、会期につきましては、お手元の会期日程のとおり、本日1日といたしました。

本臨時会に付議されます案件は、同意第8号「安芸高田市教育委員会委員の任命の同意について」及び、議案第91号「平成20年度安芸高田市一般会計補正予算（第1号）」の2件でございます。

なお、本2件につきましては委員会付託を省略いたすことといたしました。

以上、報告を終わります。

○松浦議長

お諮りいたします。
ただいまの委員長の報告のとおり、会期は本日1日とすることにご

異議ございませんか。

〔異議なし〕

○松 浦 議 長 ご異議なしと認めます。
よって、会期は1日と決定をいたしました。

~~~~~○~~~~~

日程第3 同意第8号 安芸高田市教育委員会委員の任命の同意  
について

○松 浦 議 長      日程第3、同意第8号「安芸高田市教育委員会委員の任命の同意  
について」の件を議題といたします。

この際、議案の朗読を省略いたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

市長 浜田一義君。

○浜 田 市 長      おはようございます。

平成20年第2回臨時会を招集いたしましたところ、議員各位の皆さんにおかれては、ご多用のなかご参集をいただき、まことにありがとうございます。

先月末に閉会しました定例会に続いての臨時会ということで、議員の皆様方にはご足労をいただいたところでございます。

ご審議いただきます2件の案件は、人事案件と一般会計の補正予算でございまして、いずれもさきの定例会には準備できなかったもので、臨時会を招集させていただきました。

よろしくご理解を賜りたいと存じます。

同意第8号「安芸高田市教育委員会委員の任命の同意について」の提案理由の説明を申し上げます。

本件は、教育委員会委員として中村保子さんを任命することについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定に基づき、議会の同意を求めるものでございます。

合併以来4年余り安芸高田市教育委員会委員としてご尽力をいただいております柳川基興委員がご逝去されたことに伴い、欠員補充をするもので、任期は在任期間の平成23年4月27日までとなります。

中村さんは長年、八千代町役場へ勤務をされており、合併前の平成13年度から八千代町教育委員会教育次長として、さらに合併後は八千代教育分室の分室長として3年間、安芸高田市の教育行政の推進に寄与していただいております。行政や教育の現場で培われた豊富な経験と広い見識を有しておられ、教育委員として適任であると確信をしております。

以上、よろしくご審議の上、同意をいただきますようお願い申し上げます。

○松 浦 議 長      以上で、提案理由の説明を終わります。

お諮りします。

この件に関しましては、委員会付託、質疑・討論は省略したいと思います。

いますが、ご異議ございませんか。

〔異議なし〕

○松浦議長

ご異議なしと認めます。  
お諮りします。

これより同意第8号「安芸高田市教育委員会委員の任命の同意について」の件を起立により採決いたします。

本件は原案のとおり同意することに、賛成の諸君の起立を求めます。

〔起立多数〕

○松浦議長

起立多数であります。

よって、本件は原案のとおり同意することに決定いたしました。

ここで、暫時休憩いたします。

~~~~~○~~~~~

午前 10時08分 休憩

午前 10時10分 再開

~~~~~○~~~~~

日程第4 議案第91号 平成20年度安芸高田市一般会計補正予算(第1号)

○松浦議長

休憩前に引き続き、会議を再開します。

日程第4、議案第91号「平成20年度安芸高田市一般会計補正予算(第1号)」の件を議題といたします。

この際、議案の朗読を省略いたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

市長 浜田一義君。

○浜田市長

議案第91号「平成20年度安芸高田市一般会計補正予算(第1号)」の提案理由について、ご説明を申し上げます。

本案は、既定の歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ、187万5千円を追加し、予算の総額を189億8,187万5千円とするものです。

歳入につきましては、繰入金187万5千円を追加するものでございます。

歳出につきましては、教育費187万5千円を追加するものでございます。

以上、よろしくご審議の上、適当なる議決をいただきますようお願いいたします。

○松浦議長

これをもって提案理由の説明を終わります。

この際、担当部長から要点の説明を求めます。

総務企画部長 田丸孝二君。

○田丸総務企画部長

一般会計補正予算(第1号)の要点について、ご説明を申し上げます。

補正予算書の8ページをお開きいただきたいと思います。

歳入でございますが、18款 繰入金、3項の基金繰入金は、歳出予算

の財源としまして、財政調整基金から 187 万 5 千円を繰り入れいたすものでございます。

10 ページをお開きください。歳出でございます。

10 款の教育費、6 項の保健体育費、2 目のスポーツ振興費及び本市の P R に要する経費として 187 万 5 千円を追加いたすものでございます。

内容につきましては 8 月 23 日にビッグアーチで開催されます、アビスパ福岡戦のホームゲームにおける安芸高田市のサンフレッチェ広島スponsoredゲームの負担金として 157 万 5 千円、これを計上するとともに、当日市民 500 人規模の応援ツアーを計画しておりますけれども、この応援バスにかかる経費の一部として 30 万円を補助金として計上いたしましたものでございます。

なお、スponsoredゲームの内容につきましては、教育委員会事務局より説明をさせていただきます。

以上であります。

○松浦議長

引き続き説明を求めます。

生涯学習課長 大野逸夫君。

○大野生涯学習課長

お配りしております資料につきまして、簡潔にご説明を申し上げます。

まず、このスponsoredゲームを引き受ける経過につきましてご説明を申し上げます。

安芸高田市サンフレッチェ広島スponsoredゲーム実施に伴う経過について — 安芸高田市はサンフレッチェが三ツ矢という意味であることや、サンフレッチェ広島のマザータウンであること理由から、様々な J リーグのゲームのオープニングセレモニーに武者の衣装で応援をしてきました。

昨年は 10 月 6 日を「安芸高田市の日」として、ビッグアーチ周辺のブースを借りて安芸高田市の P R を行ってきたところです。

一方、市民による活動は安芸高田市サンフレッチェ広島ファンクラブを立ち上げ、ホームゲームには毎回バスツアーによる応援を続けており、小学生は、J リーグの試合がビッグアーチで行われる日に開催されるサンフレッチェカップに招待をしてもらい、子どもたちにとって、楽しい時間を提供してもらっています。

今回は 500 人による応援をと市民団体の企画が進むなか、サンフレッチェ広島よりスponsoredゲームの提案があり、広島県内外への安芸高田市の P R 及びより多くの市民へのスポーツに対する意識啓発を目的に実施するものです。

次のページをお願いいたします。

「安芸高田市サンフレッチェ広島スponsoredゲーム事業概要」

1、目的 — 広島広域公園補助競技場での小学生のサッカー大会への参加や、ビッグアーチでのサンフレッチェ広島への応援により、応

援することやプロの選手等を身近に感じながら市民間の交流を図り、市民のスポーツへの意識を高めると同時に、サッカーだけでなくハンドボールのプロチームもあり、スポーツのまち安芸高田市を紹介したいと思いますし、また、これを機会として広島県内外に安芸高田市の観光施設や特産品及び8月30日開催予定の花火大会等イベントをPRすることにより、安芸高田市への集客力を向上させ、広く安芸高田市の活性化に寄与することを目的としております。

2、実施主体 — 安芸高田市でございます。

3、実施方法 — 1番としまして、このスポンサードゲームの事業につきましては、スポーツ振興を図っております、生涯学習課と総務課・政策企画課・商工観光課が共同で実施をしたいと考えております。

2番目としまして、500人の応援につきましては、安芸高田市サンフレッチェ広島ファンクラブ・安芸高田市商工会・商工会のOBで組織をされているTP（タウンパイオニア）会・高田白木法人会・安芸高田市地域振興事業団・安芸高田市サッカー協会等による組織で行いたいと考えております。

開催日時につきましては、8月23日土曜日、午後6時キックオフの広島広域運動公園 ビッグアーチで行われます、アビスパ福岡との試合でございます。

予算につきましては、先ほど部長が説明したとおりでございます。

以上で概要説明を終わります。

○松浦議長

以上で要点説明を終わります。

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

3番 明木一悦君。

○明木議員

今、経過説明等をいただきましたが、なぜ今経過説明が — これだけ計画性があるような内容で説明されたにもかかわらず、予算審査特別委員会はまだ済んだばかりで、当初予算が計上をされたばかりです。

それから1週間も経たないうちに、なぜこのような基金を崩してまで補正予算をこれにかけられているのか。その辺の経緯が全く今の説明では足りてないと思います。その辺を含めてもう一度説明をいただきたいと思います。

特に今回、先ほど言いましたように、予算審議が終わったばかりのなかで、基金を取り崩すというところがあると思います。

今回、スポーツ振興ということで、教育委員会のほうの費用になっていますけど、このあたり安芸高田市のPRであれば、ほかの部署、例えば産業振興部関係になってくるのではないかと考えるんですけども、そのあたりはどのようにお考えなのか伺います。

また、スポンサードゲームと言われてはいますが、これが年間にいくつあるのか。これまで既にスポンサードゲームとしてスポンサーになっているのは、いくつぐらいあるのか伺います。

また、8月23日という、予算が済んですぐのところ、補正予算を組まれています、もう2ヵ月もきつた状況のなかで、これをスポンサーとしてやると、準備に時間がないと思うんですけども、どのような経緯でこの申し入れがあったのか、具体的にお伺いいたします。

以上6点ぐらいだと思うんですけども、答弁は明確に、具体的によりしくお願いします。

○松浦議長

ただいまの質問に答弁を求めます。

総務企画部長 田丸孝二君。

○田丸総務企画部長

6月定例会が終わって間がないのに、なぜこの時期に補正予算か、しかも、基金を取り崩してまでということをございますけども、6月定例会に提出させていただきました予算は、いわゆる年間を通しての当初予算でございまして、早い段階から市長の指示のもとに編成をして準備をまいりました。

ところが、この件につきましては、それ以降市民団体やサンフレッチェのほうからお話がございまして、市としましてはいわゆるサンフレッチェがJ2に降格をし、そして今しっかり頑張っている時期でございまして、そういった意味ではマザータウンとして、これまでいろいろとご支援もしてきましたし、また、安芸高田市の子どもたちの、いわゆるサッカー等についてもいろいろご指導していただいた、そういった極めて強いご縁がありますので、この際サンフレッチェをぜひご支援申し上げ、と同時に、スポンサードゲームは約1万人前後入場客がございまして、そこで安芸高田市のPRをさせていただければ、特に、この1万人の入場者はいわゆるサンフレッチェの熱烈なファンでありますので、それに対してやはり安芸高田市がここまで熱を入れてご支援をしているといった姿を見ていただくことによりまして、安芸高田市のイメージアップ、さらには教育委員会事務局からご説明がありましたように、安芸高田市の観光交流等に大きく寄与をするだろうといった思いで、あえて定例の議会が終わった直後ではございましたけども、臨時議会があるということで、専決処分をするよりも議員の皆様方にしっかりご議論をいただいて、議決をいただいて、実施をしたいということで今回出させていただきましたものでございます。

そういった意味で、歳入の財源につきましては、既に当初の段階でそれぞれ整理をしております。そういった意味で財源については今回基金を取り崩させていただくということでの処置をとったところでございます。

それからスポンサードゲームでございまして、私たちも細かいところまでも承知はしておりませんが、ホームゲームにつきましては特別な例を除きまして、やはりスポンサードゲームをいろいろとサンフレッチェ広島のいわゆる資金を獲得するという面からも計画をされ実施をされているようでございます。

多くは民間企業等がいわゆるスポンサーになって、それぞれ民間の

企業なり、または商品なりを宣伝されておるようでございますが、昨年の例で言いますと、自治体では福山市がバラ祭りを前にバラ祭りの宣伝をうつということもあわせてサンフレッチェを支援したいということで、スポンサードゲームをされておるようでございます。

これが、私どもが現在知り得ているこの間のスポンサードゲームの例でございます。

準備に時間がないということもございますけども、いわゆるサンフレッチェのファンクラブを中心にしまして、冒頭申し上げましたように、今回はサンフレッチェにとって正念場であります。J2へ2年もおり、3年もおりしますと、だんだん選手も流失していきますので、今回はやはり1年でJ1へ復帰をしていくと、そういった正念場の年でございますので、ファンクラブとしてもいわゆる安芸高田市、マザータウンとしてしっかりした応援をしたいということで、300人であるとか500人であるとか、そういった応援体制を組んでやっていきたいということで、この応援につきましては計画をされておったところでございます。

そういったなかで、サンフレッチェのほうからこうした申し入れがございましたので、確かに準備をする時間はございませんけども、動員につきましてはファンクラブを中心に、資料のなかにもありましたような団体等が全力を挙げて取り組んでいくということであります。

なお、市としましても、職員の互助会がございまして、この互助会等にもいろいろ申し上げまして、職員もあわせて参加をしていくような、そういったことも取り組みをしてまいりたいと思っております。

以上であります。

○松浦議長

以上で答弁を終わります。

3番 明木一悦君。

○明木議員

答弁が足りないと言って、もう少しやってもらってもいいんですけど、2回目の質問とさせていただきますけども、当然そうなんです、マザータウンとしてサポートしていく必要は当然あります。

そういうなかで、スポーツ振興、または市のPRとしてやるということは決して間違っていないと思っております。

ただ、この予算づけのやり方ですよ。今回の補正予算という形で上げられてきた、当初予算がもう組まれていた中で、間に合わなかったというのはちょっとおかしいのではないかと思います。

例えば、それであれば、27日の最終日にこれを提出することもできたはずですよ。ということは、それ以降にこれが上がってきているわけですよ。そのあたりについて具体的にどういうふうな形で、これがこの日に出されるようになったのか、日を追って説明をしていただきたい。

また、先ほどの申し入れですけど、サンフレッチェのほうからも申

し入れがあったということですが、23日は多分大体こういうことをやるについては、サンフレッチェのほうが早い段階でスポンサーどりに動いているはずなんです。それについて、スポンサードゲームについてはどうなのか理解をしていないという答弁もありました。どんなところがやっているかもわからない。数もわからない。これは調査不足であり、マーケティングの能力が非常に足りないのではないかと考えます。

そういう答弁からみると23日、もう時間がないところで、例えばサンフレッチェが過程として考えられることは、ここのゲームについてスポンサーがないから安芸高田市にどうかという話を持って来られたのか、それともほかの形で来られたのか、はっきりわかるように答弁をいただきたいと思います。

○松浦議長 ただいまの質疑に答弁を求めます。

市長 浜田一義君。

○浜田市長 この問題は私が市長になって17日に登庁して、予算が大体組み上がって印刷に出したというタイミングで持って来られました。前のことはわかりません。

しかし、私は専決処分で行うのか、議会へやるのかということに迷いましたが、まずは議会のほうに承認していただくということで、なかで議論をしておりました。実際問題として印刷や、そういう事務的に間にあわなかったということがございます。

ただ、一般的に判断をしたら、こういう市民が燃えて、安芸高田市をPRしていくという機会、チャンスはそんなに多くあるものではないので、この際、しっかり皆さんの了解を得ながらスポンサードゲームをやって、安芸高田市の宣伝をしていこうではないかということで、こう決めさせていただいたところであります。

他意はございません。我々の準備不足と言われればそうなんですけども、不足を踏まえてもこのタイミングが一番いいと市長が判断をしてこれをやることにしました。よろしく願います。

それから、安芸高田市には神楽やハンドボール、サッカーを全面に出していくことが、よその町との差をつけていけることなので、これからもこのことを十分に生かしながら行政の運営を図っていきたいと思いますので、よろしくご理解のほどを賜りたいと思います。

これから時間があるときには、しっかり準備を整えてやっていきます。このたびのことだけは、いろいろ市長選挙もあり、早急なことで周知したということでご理解を賜りたいと思います。

○松浦議長 以上で答弁を終わります。

ほかに質疑はありませんか。

12番 青原敏治君。

○青原議員 今回の答弁で理解はするんですが、その下の補助金として、バスの助成30万、それはされることは私もいいと思うんですが、ただ安芸高田

市には先ほどからも出ております、ハンドボールやカヌーがあるんですね。

この前カヌーの大会も八千代であったときに、ちょっと保護者の方に聞いたんですが、いろんなことで資金が少ないと。助成をしてもらえないだろうかというような声も聞いておるんですね。そういうのを教育委員会のほうとしても、商工観光課になるんかわからんですけども、やっぱり公平にやっていただきたいというふうな思いがするんですよ。

それはサンフレッチェも大事ですよ。カヌーもあるし、ハンドボールもあるわけですね。そういう事情があるんで、やはりそこらあたりをしっかりと見据えて今後の取り組みをしていただきたいというふうな思いがします。

そこら辺の考え方があればご答弁をお願いします。

○松浦議長

ただいまの質疑に答弁を求めます。

市長 浜田一義君。

○浜田市長

おっしゃるとおりでございます。スポーツに限らず福祉・教育、それから農業、すべてについてそういうことへの考えのもとにこれからやっていきたいと思っております。

このたびのサンフレッチェだけというのではなしに、ほかのスポーツがどういう実態になっているのかということを見据えながら、公平性を持ってこれから考えていきますので、よろしく申し上げます。

○松浦議長

以上で答弁を終わります。

ほかに質疑はありませんか。

17番 今村義照君。

○今村議員

今回の補正予算がどうも受け身のような形で、この事案が受け止められて仕方がないわけです。いわゆるスポーツ振興が柱であり、そのための資金として、市のPRにつなげたいんだということでございますが、さらにはこのことをもっと積極的にやるのなら、取り組むべきであろうと思うわけです。

市のPRを期待するのなら、間接的にもパブリシティ効果による直接的な経済効果をどのくらいに求め、あるいはこの費用を中心にして、今後これからのいわゆる観光面なり、産業振興にいかなる形で、このことを生かすのか、そういった直接的な経済効果をこれを契機にやりたいんだという説明がほしいと思うわけです。そこら辺についてのご見解があればお伺いをしたいというふうに思います。

○松浦議長

ただいまの質疑に答弁を求めます。

総務企画部長 田丸孝二君。

○田丸部長

議員ご指摘のとおりでありまして、そこでどのような市のPRを行っていくのかという説明が不足をしていたというふうに思います。

少しご紹介をしたいと思いますけども、まず、当日配られる入場券でありますとか、試合のパンフレットといったものにはすべて安芸高

田市という、それからゲートの看板等も、そういったものが全部入ってまいります。それから大型スクリーンを使つての安芸高田市のPRをすることもできます。これをどうするかは、今から詳細にあたって詰めなければならぬと判断をしておりますが、教育委員会の事務局からもありましたように、ちょうど1週間先には花火大会がございます。

いわゆる安芸高田市の花火は、広島県でもある程度のクラスの花火大会になっておりますし、しかも夏の最後を飾る花火という形で定着をしつつあります。そういったものの宣伝をしましたり、また、今ガソリンの高騰で残念ながら観光客がだんだん少なくなっております。新聞にも一時出ておりましたけども、帝釈峡あたりの駐車場も閑散としている記事がございましたが、安芸高田市も例外ではございません。そういった意味で、市内からの観光客も相当少なくなっているということもございます。

そういったことのなかで、今、あくまでも案でありますけども、湯治村、湯の森等々の安芸高田市のそういった第3セクターの宣伝、例えば、入湯券を入場時に先着千名様に御配りするとか、そういったことを含めて今から検討してまいりたいというふうな気がしております。

さらに、子どもたちの関係で言いますと、いわゆるサブブランドでの、そういったサッカーの試合がございましたり、それからエスコートキッズということで、テレビで見させていただきますと、いろんな大会なり試合には、子どもたちが選手と手をつないで出てまいりますけども、そういったことを子どもたちにも経験をさせてやればというふうな思いがしております。

そういうふうなことで、冒頭申し上げましたように、やはりサンフレッチェの熱烈なファンが1万人集まってくる、そのサンフレッチェを心から支援している安芸高田市、そこに共感も生まれて、やはり安芸高田市に対するイメージのアップというのは相当図れるのではないかというふうに思っておるところであります。

以上のようなことで、また詳細は今から準備をしますけども、そういった広報活動を、私どもとすれば短い期間でありますけども、しっかり企画をして実施をしてまいりたいというふうに考えております。

以上であります。

○松浦議長

以上で答弁を終わります。

ほかに質疑はありませんか。

15番 入本和男君。

○入本議員

簡単に箇条書きに質問をさせていただきます。

ただいま、臨時会があると聞いてという形が出たんですが、これは臨時会があると聞いたのは、結局、人事案件で臨時会を開いたのか、それを聞きます。

それから、今の持込というのがあったんですが、具体的に日程的に

どのような日にちを追って今日に至ったのか伺います。

それから、議会を招集しなくても専決処分ですらやってくれたほうがよかつたんでございますが、さきの市の広報に対しては300億というものを専決して既に印刷し、わずかこの緊急な事態のもので本日187万5千円のことで、これを専決できなかった。本日の議会にしても費用がかかるわけでございますし、これを反対するものは誰もいないと思う。これを専決されても別に問題がなかったのではないかと思うんですが、そのあたりの議会に対する見解を伺います。

それから、今の話を聞きますと、日常でも地域の産物の販売は、練習日もあるわけですが、練習日の見学者の状況はどのように把握されておられるのか。

それから、この席に産業建設部、商工観光課がないのはどういうことなのか。ウエイトはどちらかといえば、そちらがメインのような答弁がありますけど、その産業建設部に対して熱意が伝わってくる答弁が聞けないのは、なぜ、その説明員をここに置かなかったのか。

それから、大型スクリーンといいますけど、この大型スクリーンにかかる費用はどこに含まれているのか。また、これに関する会場での物産展でのボランティア等の人員的なものの問題は今から言われますけども、そう簡単な事業ではないと、やることによってマイナスがあつてはいけないという意味で質問をさせていただきます。

以上7項目。

○松浦議長

ただいまの質疑に答弁を求めます。

総務企画部長 田丸孝二君。

○田丸部長

まず、今回、この臨時議会に出させていただいた経過でございますけども、先ほど選任同意をいただきました教育委員会の委員さんの補充の件がどうしてもあるということがわかりまして、そうであるならば、いわゆる予算というのは、本来議会で議決をされるべきものでありまして、わずかな小額ではあつても、専決というのは基本的に議会で議決される機会があれば、議会で議決をさせていただくと、こういった手法をとるべきであるという考え方のなかで、やむを得ない、どうしても緊急の場合には専決というものを常にお願ひするわけでありまして、そうでない場合につきましては、やはり議会での議決をいただくということで、こうした人事案件がございましたので、あわせて議会のご議決をいただくという方法をとらせていただいたということでございます。

それから練習日等につきまして、どれだけの方が来られているか等々につきましては、私どものところでは現在資料を持ち合わせておりません。

それから、産業建設部がないのはということでございますけども、予算を所管しておりますのは私どものところで、なおかつ、いわゆる広報でありましたり、または第3セクター等、総括的に私どもが把握

をしておりますことから、総務企画部が出ささせていただいておりますし、予算を執行する所管の部で、教育委員会が出ささせていただいておりますということでございます。そういったことで、ご理解をお願いしたいというふうに思います。

それから、大型スクリーンのいわゆる費用でございますけれども、これの仕様につきましては、負担金のなかにすべて含まれております。

ただ、スクリーンに流す映像、もしくは絵が必要でございますが、これにつきましては、やはり自前で用意をする必要があるというふうに思っています。

それから、物産等のことでもございましたけれども、当日あそこで物産を売るということではできません。入湯券等は先着何名様に対してお配りをして、「湯治村なり湯の森等へぜひ来てください」といった宣伝を打つといたことでございます。

そのほかに、いわゆる安芸高田市の特産品等を展示をして宣伝をするコーナーは設けることはございますけれども、そこで物を売ってということではできないというふうにお聞きをしております。

以上でございます。

〔今日に至るまでの日程を詳しくお伝えしてほしいと言ったのが洩れているんですが …… との声あり〕

○松 浦 議 長

総務企画部長 田丸孝二君。

○田 丸 部 長

最初に話がございましたのは、市長のところに、先ほど申し上げましたように、予算編成が終了し、既に印刷にかかった段階でということで、私どもも伺っております。それ以降、市長のほうからこれについて検討してみなさいという指示がございました。

当然、大きなイベントでございますので、PRだけの問題ではなしに、やはり 500 という席を 150 万円余りの負担金のなかで使うことができるわけでございますので、そういった意味では、しっかりした応援体制も組まなくてはいけないということもございます。

それと同時にどのような形で安芸高田市をPRしていくのか、どこに視点を置くのかと、こういったことも検討をする必要はございます。

そういったことを検討したり、内々いわゆるファンクラブでありますとか、そういったいわゆる動員体制の主体になっていただけたところ等々についてもご相談を申し上げますと、実現可能かというふうな …

〔日程を聞いており、印刷終了後とは何月何日ですかということ質問しているとの声あり〕

○田 丸 部 長

印刷終了は 6 月定例議会を開くということで、議運を開いていただきましたけれども、その 1 日か 2 日前だったと思います。それが、印刷が終了した時期であります。

〔市長のほうに申し入れがあったんでしょ。答弁洩れについて指摘しているんですとの声あり。〕

○松 浦 議 長

暫時休憩します。

午前 10時49分 休憩

午前 11時00分 再開

○松浦議長

休憩を閉じて会議を再開します。

市長に答弁を求めます。浜田一義君。

○浜田市長

私のところへサンフレッチェの方がいつ来られたかということですが、多分、就任して一週間くらいだったか、5月19日ごろだったと思います。

それで、すぐ予算の担当の課長のところへ行ってお金はどうかと言ったら、もう印刷をしてあるので、この分は予備費か何かからということになったので、こういうことになりました。

実際、こういうものについては、速やかに対応してタイミングがよいと思ったから職員に指示をしたということでございます。そういうことでございます。

○松浦議長

引き続き答弁を求めます。

総務企画部長 田丸孝二君。

○田丸部長

予算書の印刷発注でございますけども、先ほど議会運営委員会がございましたが、それ以前、その前にと説明を申し上げましたが、6月定例議会につきましては、5月26日に議会運営委員会が開催をされております。それを目標に印刷に入ったわけでございますが、完成は5月23日、金曜日でございました。金曜日に議会のほうへお届けしているはずであります。発注は1週間程度かかりますので、5月16日に発注をかけたということでありませう。

ちなみに、サンフレッチェから市長のほうに来られたのは、発注後週が明けて月曜日の19日のようであります。

以上であります。

○松浦議長

以上で答弁を終わります。

ほかに質疑はありませんか。

15番 入本和男君。

○入本議員

先ほど不適切な、専決という不適切な発言がありましたことを訂正させていただきます。

再度詳しく聞かせていただきますが、大型スクリーンの映像については、費用は要らないんでしょうが、つくるのに制作費用は要らないのかと聞いたわけでございます。

それと、この予算のなかに、先ほど入湯券というのも、これは決定したかどうか知らないんですが、そういうものを配るとすると、入湯券も千名、いや百名と言われたんですかね。その券にしても、無料にするということは財源が必要ではないかと思うんですが、そのあたりはどのようにこの予算措置のなかに入っているのか、それともどういう歳出の予定があるのか、再度伺います。



思っていますので、よろしく願いいたします。

○松浦議長

引き続き答弁を求めます。

教育長 佐藤勝君。

○佐藤教育長

教育長としての考えということでございますが、冒頭、大野課長のほうから目的のところの説明をさせていただきましたけども、本物のサッカー選手とのふれあいということは、何にも増して、子どもにとって心を奮い立たせるし、しかもまた、子どもたちもそのことを通しながら、お互いの信頼関係もできるだろうというように思います。

スポーツをすることだけではなく、スポーツを応援することを含めてスポーツの振興を考え、特に本物の体験をすることを通して市内の子どもが元気でスポーツに親しんでいくということを進めてまいりたいと、このように思っております。

以上でございます。

○松浦議長

以上で答弁を終わります。

ほかに質疑はありませんか。

3番 明木一悦君。

○明木議員

もう、繰り返し何度も目的等については説明をされていますし、それに反対するものは本当にいないと思います。

ただ、議論を視点として、先ほどから私が言っているのは、プロセスの問題なんです。5月19日に話を受けて、既にそのときには発注をして予算書が間に合わないからという話でしたけども、よくやられる手法としまして、差し替えとか、上に張るとかいうやり方も今までに何度か予算書にもあったかと思うんですけども、なぜここまで引っ張られたのか、もう一度そのところを詳しく知りたいというふうに思います。

特に、もしその段階でできているのであれば、何で今になって、今から準備・検討が必要なのか、部長の答弁はまだ何も決まっていないような答弁でしたけども、本当に準備もまだされていないのに、間に合うのかという、せっかくこういういいイベントをされるのであれば、成功をさせないといけないわけです。それに対して、まだ、検討・準備段階というのは、いかななものかなというふうに考えます。

先ほども同僚議員から、教育委員会のほうにも答弁を求めましたけども、これは教育委員会の予算ということで計上されていますけど、教育委員会のほうからは説明のみで、あとは答弁についてはすべてそちらでやられているという状況のなか、先ほどもありましたように、なぜ、産業振興の担当が出られないのか。今後のこういうものに対しての進め方に対しても、その辺のプロセスをはっきりしておくべきではないかというふうに考えますので、そのあたりについて答弁をいただきたいと思います。

また、特に、なぜそれが必要かというのと、すべていい事業ではあるとは思いますが、特に今回の事業なんかはすばらしいものだとは

思いますけども、この財政難のなかで、財政健全化計画も出されているわけですね。そういうなかで、やはり計画性を持った対応がこれからは必要であるし、こういう形でプロセスがきちっとされていないものが提案をされてくると、議会として非常に判断を誤る可能性があると考えておりますので、そのあたりの今後の対応についてしっかりとした答弁をいただきたいと思います。

以上です。

○松浦議長 ただいまの質疑に答弁を求めます。

市長 浜田一義君。

○浜田市長 このたび、いろんな準備不足でご理解を賜らなかったというのは、お詫び申し上げたいと思います。

私の判断で、早急にこれをやったほうが効果としてあると判断してこういう措置をとらせてもらいましたので、ご理解を賜りたいと思います。

今後こういう問題については早めにキャッチしまして、十分検討をしながらこういうことをやっていきたいと思います。

それから、窓口についてですけど、私が市長になる前から、いろんな検討をされたみたいで、前市長さんが、窓口を一本化したらいんじゃないかということで、教育・スポーツ・カヌー・神楽・サッカーについては今までバラバラだったんだけど、窓口を教育委員会ということになっております。

まだ、職員もその辺の対応が十分にできていないと思いますけども、一応教育委員会が窓口ということで、私も教育委員会に指示をしているんですけども、この小さなまちで動くことについては、イベントについては商工観光課の所掌があるんですけども、教育の振興からいけば教育の話なので、そういうことを言わず仲良くいいがにやっという指示をしているところでございます。

今の議員のご質問を含めまして、今後うまく事業ができるように、また皆さんに説明ができるような体制づくりにはこれから心がけていきたいと思います。

終わります。

○松浦議長 以上で答弁を終わります。

ほかに質疑はありませんか。

○松浦議長 7番 川角一郎君。

○川角議員 今までいろんな議論をされてきたわけですが、これの出たきたそのものが余り早くなかったということで、混乱を招いたという要因もあるわけですが、この予算ができております 187 万 5 千円は金額は小さいわけですが、非常に大事なお金であろうと思うわけです。

それで、きょうこのなかで見ますと、この事業を執り行う上については、生涯学習課、総務課、政策企画課、商工観光課というふうな総

力を挙げてこのものを実施していくんだということが見えるわけでご  
ざいます。日数からしますと、あと 44、5 日しかないのではないかと  
は思うんですが、そのなかにはいろんな行事もございますので、大変  
だろうと思うわけです。

ですが、やはりこの効果を生かすということについては、非常にそ  
れまでの段取り、それから成功をさせるためには、それに向けての準  
備が大変だろうと思うわけでございます。

これは、先ほどありましたように、市だけでなくして、外部団体を含  
めて成功させようというのが見えるわけでございますので、そこら  
で十分に連携をとりながら、このお金が効果の出るように、ひとつ取  
り計らいを十分していただきまして、これがさっきからありますよう  
に、安芸高田市の十分なPRになるように生かしていただきたいとい  
うことをお願いしまして、意見になるかと思うんですが、よろしくお  
願いいたします。

以上です。

○松 浦 議 長 ほかに質疑はありませんか。

〔質疑なし〕

○松 浦 議 長 質疑なしと認め、これをもって質疑を終結いたします。  
お諮りいたします。

本件は、委員会への付託を省略いたしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

〔異議なし〕

○松 浦 議 長 ご異議なしと認め、委員会への付託を省略いたします。  
これより討論に入ります。

討論はありませんか。

〔討論〕

○松 浦 議 長 まず、反対討論の発言を許します。

〔賛成討論〕

○松 浦 議 長 引き続き、賛成討論の発言を許します。

15 番 入本和男君。

○入 本 議 員 この議案につきましては、あるものを生かし、協働のまちづくり、  
また、活力につながるということで賛成でございますが、さきの定例  
会におきまして、議案第 86 号の「安芸高田市手数料条例の一部を改正  
する条例」で、決定前に資料が回ったこと。また、「広報あきたかた  
7 月号」においては、議決の前に既に支所のほうに予算審査が決定し  
たという広報紙ができ上がっていたこと。また、今回の議案に対しても、  
最善を尽くせば定例会中に出す方法があったという面もあります。

もっと、執行部としては、市民または議会に目を向けてもらって、  
双方の協働のまちづくりに邁進することを申し上げまして賛成をいた  
します。

○松 浦 議 長 反対討論はありませんか。

〔討論なし〕

○松 浦 議 長

討論なしと認め、これをもって討論を終結いたします。  
お諮りいたします。

これより議案第91号「平成20年度安芸高田市一般会計補正予算(第1号)」の件を、起立により採決いたします。

本件は、原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔起立多数〕

○松 浦 議 長

起立多数であります。

よって、本件は原案のとおり可決されました。

以上をもって本臨時会の日程はすべて終了いたしました。

これにて平成20年第2回安芸高田市議会臨時会を閉会いたします。  
ご苦労様でした。

~~~~~○~~~~~

午前 11時16分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

安芸高田市議会議長

安芸高田市議会議員

安芸高田市議会議員

